

議会改革推進特別委員会の報告

尾張旭市議会では、尾張旭市議会基本条例にある「議会改革の取組」に基づき、議会改革に関する課題に集中的に取り組み、議会の活性化を図るため、令和元年7月5日に議会改革推進特別委員会を設置し、令和2年3月2日をもって散会しました。6回の委員会と2回の行政調査を実施し、下記の事項について協議を行いました。今後も引き続き市民のために議会活動・議会運営を行っていきます。

議会及び議員の活動原則

議長始め、各役職における任期のあり方について検討した結果、現行どおりとしました。議場説明用持込物品等に関する申し合わせ事項を策定しました。

市民と議会の関係

若い世代に、議会の役割を認識してもらうため、そして、政治参加のきっかけとしてももらうため、高校や大学と連携を取りながら、高校生議会や意見交換会を実施していきます。

委員会の活動

予算決算に係る常任委員会を設置することを認め合いました。今後は実施に向けて議会運営委員会で審査方法を調整し、次期改選までに実施していきます。

政務活動費・議員報酬

国や県への要望、陳情活動を政務活動費の使途基準に含める方向性を認めました。議員報酬における委員長手当について協議を行った結果、現行どおり支給しないこととしました。

委員会の行政調査報告

議会改革推進特別委員会

委員長 武田 なおき

2月14日に三重県伊勢市を訪問し、「予算・決算委員会」と「高校生議会」について行政調査を行いました。

「予算・決算委員会」については、平成25年12月議会で「議会改革特別委員会」を設置して、協議を重ね、「予算・決算特別委員会」を立ち上げ、分科会方式で審査を行ってきたとのことでした。全体会開催後に、実質的な審査を分科会方式で行っているために、9月議会での決算審査に関わった

委員が3月議会の予算審査に関わることができ、決算審査の結果を予算審査に反映しやすいとのことでした。このことは、本市議会においても大いに参考となる事例であると思います。

「高校生議会」については令和元年8月8日に伊勢市議会議場において開催されたとのことでした。伊勢・志摩地方で公立・私立合わせて13校に募集をした結果、7校18名の参加があったとのことでした。事前に議会と高校側との打ち合わせを行った上で、事前説明会を開催したため、当日はスムーズに進行したとのことでした。

た。事後のアンケート結果によれば、高校生・引率教員全員が参加して良かったと回答しています。昨年調査した兵庫県西宮市や今回の伊勢市の取組を参考にして、本市議会においても高校生議会を開催していく予定です。



伊勢市議会にて